

観光立国の実現は地方(地域)から

# の力で活性化を

# 国内観光の振興へ追い風吹く

## 旅館・ホテル、地域と一体でさらなる高みへ

2016年が明けた。昨年の旅行業界は海外の情勢不安が大きく影響して、海外旅行の販売が激減。半面、国内旅行は北陸新幹線開業やシルバークライクなどの話題もあり、堅調に推移した。国が強力に推し進めるインバウンドは目標の2

千万人を前倒して達成する勢いだ。今年も北海道新幹線の開業をはじめ、国内の話題が豊富。旅行業主要4社は、今年1年の国内旅行をどう売っていくのか。本紙恒例のトップ座談会で語っていただいた。【東京のホテルニューオータニで】

**出席者**  
 JTB社長 高橋 広行氏  
 KNT-CTホールディングス社長 戸川 和良氏  
 日本旅行社社長 丸尾 和明氏  
 東武トップツアーズ社長 坂巻 伸昭氏  
 司会=本社編集長・内井高弘

## 15年の国内旅行を振り返る

——国内旅行市場にとって2015年はどんな年だったか。印象に残った出来事などをうかがった。

高橋 おおむね国内好調、海外低調、インバウンドは極めて好調という流れだった。そうした中で弊社の国内旅行も順調に推移し、15年上期(4～9月)の取扱額は前年同期比106.6%となった。海外の落ち込みをカバーした格好だ。マーケットに沿った営業ができたと捉えている。けん引役を果たしたのはやはり北陸新幹線だ。エースについては、首都圏から北陸行きが400%、北陸から首都圏は180%となっており、首都圏と北陸双方の観光の流れができたと思う。



坂巻氏

都圏から観光客が流れるのは当然だが、関西からも思った以上に利用があった。新幹線延伸が観光動向にこれほど大きなインパクトを与えるのかというところを再認識した。格安航空会社(LCC)の台頭も追い風となった。空港側も専用ターミナルを設けるなど環境整備が一段と進んだ。旅行業にとってLCCの商品性は十分とはいえないが、これが進めば新たな需要を開拓できると思う。あとは大天守の修繕を終えた姫路城のクラフトオープン、産業革命遺産の世界遺産登録なども話題を集めた。

インバウンドについては、当社はそれほど取れてはいないが、外客が増えることで国内の旅行市場そのものが拡大しており、いい効果が出ているのではないかと、ホテル、貸し切りバス等の確保が難しくなっているという陰の部分も否定できない。

——地方創生の影響はどうだろうか。

丸尾 地方創生の大きな取り組みであるふるさと旅行券などが話題となったが、発券方に課題を残したものの、観光に対する地方自治体の熱意が地域経済の後押しになったと思う。

——日本旅行にとって15年は特別な年だった。

丸尾 創立110周年の節目の年だった。特段大きなイベントはしなかったが、創業

者の理念である、マーケットインとチャレンジャー精神を共有すべく、まず5月には、日本初の団体臨時列車の目的地である善光寺のご開帳に合わせ、JRグループのデザイン・シヨウケンベン(DC)に合わせ、福島大分そして北陸でも団体を任じた。こうした取り組みの結果、国内の販売高は110億円で前年比104%となった。内訳としては赤い風船団体とも109程度の伸びであり、好調に推移した1年だったといえる。

15年の話題は、私も北陸新幹線開業とインバウンドを挙げたい。北陸にスポットが当たり、観光客の流れを変えたと思う。販売拡大のけん引にもなった。インバウンドは予想以上の伸びで、政府が目標としていた2020年2千万人の前倒し達成は確実な準備が追いつかず、課題も多い。日本旅行業協会(JATA)としてこれまで二度にわたり提言してきた課題が顕在化してきた。

——地方創生についてはどう評価しているか。

丸尾 多くの自治体で観光を中心にして取り組む動きが出ており、旅行業に対する期待も大きくなっている。地方創生を通じて我々は今後自治体とどう関わっていくのか、どう貢献していくかが問われている。それが明確にされた年だったと思う。

観光は交流人口、そして雇用の拡大につながる。そこに我々の果たす役割は大きい。また一方で、15年は自然災害などマイナスの影響もあったが、全体的には国内旅行は活発に動いたと思う。



戸川氏

業で、地方自治体によるプレミアム宿泊券や旅行券の発行は地域の需要喚起につながったと思う。一方で、団体旅行の不振がいわれているが、一部企業では業績も回復し、当社においてはMICEや火山活動の活性化や大

雨による豪雨や自然災害も目立ったが、観光地への影響も小さくなった。

高橋 直接被害に遭われた方々、風評被害の影響を受けた地域にとってはゆゆしき事態であり、マイナスイメージであったが、国内旅行全体としては堅調だった。引き続き、正しい情報の発信やリカバリー策も講じていきたい。

戸川 昨年は、大雪や大雨、火山の噴火といった自然災害もあったし、アジア航空機事故や新幹線車内での焼身自殺、フェリー火災など交通機関の事故・事件も目立った年だったが、国内旅行全体としては、影響は少なく順調に推移した。

北陸新幹線については、首

尾 創立110周年の節目の年だった。特段大きなイベントはしなかったが、創業

者の理念である、マーケットインとチャレンジャー精神を共有すべく、まず5月には、日本初の団体臨時列車の目的地である善光寺のご開帳に合わせ、JRグループのデザイン・シヨウケンベン(DC)に合わせ、福島大分そして北陸でも団体を任じた。こうした取り組みの結果、国内の販売高は110億円で前年比104%となった。内訳としては赤い風船団体とも109程度の伸びであり、好調に推移した1年だったといえる。

15年の話題は、私も北陸新幹線開業とインバウンドを挙げたい。北陸にスポットが当たり、観光客の流れを変えたと思う。販売拡大のけん引にもなった。インバウンドは予想以上の伸びで、政府が目標としていた2020年2千万人の前倒し達成は確実な準備が追いつかず、課題も多い。日本旅行業協会(JATA)としてこれまで二度にわたり提言してきた課題が顕在化してきた。

——地方創生についてはどう評価しているか。

丸尾 多くの自治体で観光を中心にして取り組む動きが出ており、旅行業に対する期待も大きくなっている。地方創生を通じて我々は今後自治体とどう関わっていくのか、どう貢献していくかが問われている。それが明確にされた年だったと思う。

観光は交流人口、そして雇用の拡大につながる。そこに我々の果たす役割は大きい。また一方で、15年は自然災害などマイナスの影響もあったが、全体的には国内旅行は活

創業1888年/日光国立公園鬼怒川温泉  
**あすや**  
 〒321-2598  
 栃木県日光市鬼怒川温泉滝813  
 TEL 0288-77-1111  
 URL: http://www.asaya-hotel.co.jp



旅の喜びを、日本の四季を、ゆっくりとご堪能ください。

【下留の湯】天井・柱・壁の檜の他、恵那のさび石を使ったこだわりの大浴場。高温・低温浴槽や檜風呂・サウナと多彩にお楽しみいただけます。

下呂温泉 **水明館**  
 岐阜県下呂市幸田 1268  
 TEL(0576)25-2800 FAX(0576)25-4520  
 URL: http://www.suimeikan.co.jp/